

10年後のDMO・ 観光協会に向けて 今、取り組むべきこと

◆日時：平成30年2月19日(月) 13:00～16:00

◆場所：ぎふ清流文化プラザ セミナー室

〒502-0841 岐阜市学園町3-42

◆定員：60名

入場無料

第1部 事例紹介

13:00～14:00

持続可能な観光地域づくり

第1弾日本版DMO登録「(一社)そらの郷」の挑戦

全国に先駆けて日本版DMOとして第1弾登録された「(一社)そらの郷」。中山間地域における観光地域づくりの事例として、秘境と呼ばれる山間地域に外国人観光客を惹き付ける着地型旅行商品づくり、DMOの組織や合意形成の仕組み、広域連携の取組みなどを紹介します。

第2部 講演

14:10～15:30

10年後のDMO・観光協会に向けて 今、取り組むべきこと

1年間の研修の締めくくりとして、「10年後に生き残る観光地となるため」をテーマとして、観光地経営の目指す姿や市町村域を超えた広域連携の必要性、組織運営の在り方についてご説明いたします。

質疑応答

15:30～15:40

●講師

出尾 宏二氏

地域連携DMOとして
日本版DMO第1弾登録された
一般社団法人そらの郷
事務局次長



・主に旅客営業のセクションで務め、国内旅行の造成、販売、販売促進に関わり、平成20年の「にし阿波観光圏」の認定の際、JR四国の観光開発として「にし阿波」との関わりを持つ
・「にし阿波」地域以外に、穴喰自然再生協議会委員、上勝アートプロジェクト委員、吉野川市観光協議会委員、美郷ブランド推進協議会などに関わる傍ら、香川・徳島県各地のウォーキングコースの設定や観光プロモーションのお手伝いに奔走
・現在は、「一般社団法人そらの郷」事務局次長として、にし阿波各地の市町村や観光事業者及び地域の方々と協働して体感プログラムや着地型旅行商品の開発を観光圏事業の観光地域づくりマネージャーとして活動中

●講師

高橋 一夫氏

近畿大学 経営学部 教授

・H29現在、日本における「DMO・観光地域づくり」研究の第一人者
・経済産業省「産学連携サービス経営人材育成事業」(近畿大学 観光地経営を担う日本版DMOの人材育成プログラム事業)事業
・DMOへのアドバイザー・講演など支援実績多数「せとうち観光推進機構」「東大阪ツーリズム推進機構」「大阪モノづくり観光推進協会」「下呂温泉観光協会」他多数
・総務省地域再生マネージャー
・著書に「DMO観光地経営のイノベーション 2017.5」等がある

